

渋川 玄耳(しぶかわ げんじ)

資 料

短冊『探梅や 右は椿の 日かげ路 玄耳』

作 者

1872(明治5). 4. 28—1926(大正15). 4. 9

佐賀県杵島郡生まれ。

高等文官試験に合格し、裁判官になる。第六師団(熊本)法務官を務めた際、夏目漱石の俳句結に参加し俳句を詠む。その後、東京朝日新聞社に入り社会部長となり、漱石を東京朝日新聞へ招いたり、朝日歌壇の選者に石川啄木を起用する。

参考文献

『野暮たるべきこと 評伝渋川玄耳』(森田一雄／著 梓書院 2005. 11 [県立 289. 1／4642(21907878)])

『藪野棕十日本世界見物(第3)』(渋川玄耳／著 誠文堂 [1917] [地域 K291. 4／333(65116154)])

